

2023年5月10日
 多治見通運株式会社
 日本貨物鉄道株式会社 東海支社

災害時の鉄道コンテナ輸送に関する バックアップ体制の構築について

多治見通運株式会社（本社：岐阜県多治見市、以下「多治見通運」）と日本貨物鉄道株式会社東海支社（支社：名古屋市、以下「JR貨物東海支社」）は、大規模な災害等で鉄道輸送網の一部が寸断した際、物流の安定供給を図るため、全国の貨物駅をクロスドックとして活用することにより、鉄道輸送網のバックアップ体制を構築し2023年度よりサービスを開始します。

大規模な災害等の影響で鉄道コンテナ輸送のネットワークの一部が寸断した場合でも、事前に定めた貨物駅から、列車が運行している区間の貨物駅までトラックで代替輸送を行うことで、鉄道コンテナ輸送のサプライチェーンの維持が可能となります。

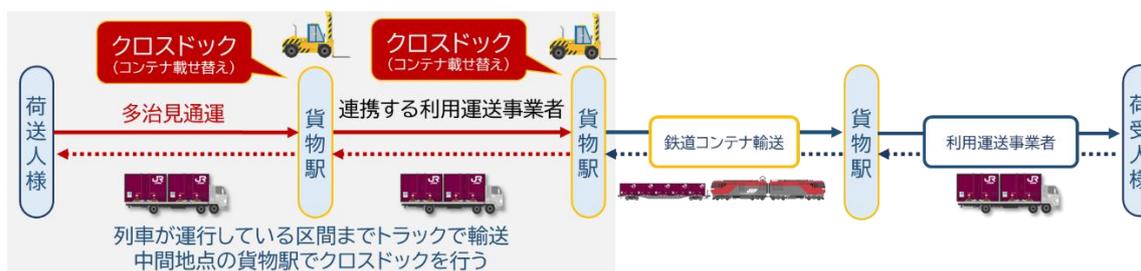
今回のスキームは、2023年4月21日付で、多治見通運ほか数社が中小企業庁の「連携事業継続力強化計画」で認定を受けたサプライチェーン維持計画によるものです。

1. スキーム

災害発生時



代替輸送スキーム



2. メリット

大規模災害時における鉄道ネットワーク寸断時であっても、上記認定を受けた利用運送事業者間の連携により、一定の貨物について、鉄道コンテナ輸送のサプライチェーンを維持することができます。

3. スキーム利用に関する問合せ先

多治見通運株式会社 運送部 ☎0572-20-2500
 日本貨物鉄道株式会社 東海支社営業部 ☎050-2017-4015